



ハイビーム・ロービーム 視認性体験シミュレータ

<ヘッドマウントシステム> VR対応

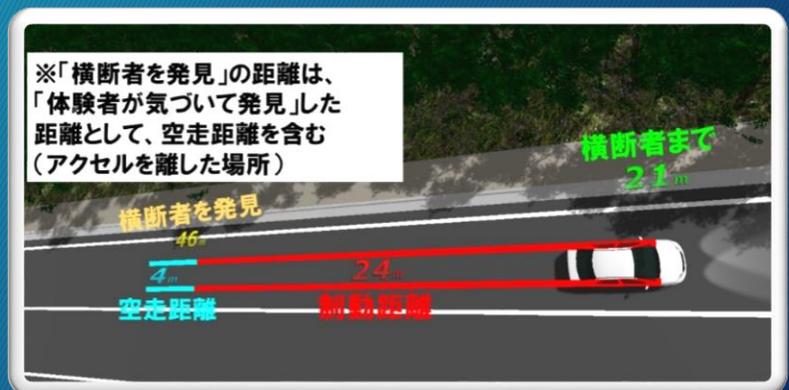


視認性体験シミュレータとは

- ドライバー視点で、夜間の道路におけるヘッドライトのハイビーム・ロービームの見え方の違いを体験し、ハイビームの重要性を学習
- ヘッドマウントディスプレイを使用し、アクセル・ブレーキペダルを備えることで、臨場感のある体験が可能
- 歩行者教育の立場から、視認性の高い服装や反射材の重要性も表現

体験の流れ

1. ロービームにセットし、体験者がアクセルペダルを踏むと、自動車が発進して体験スタート
2. 横断歩行者に気づいた時点でブレーキペダルを踏む
※直前で発見するため、間に合わずにぶつかってしまう
3. ハイビームにセットし、同様の流れで再度体験
※かなり手前で歩行者を発見できるため、安全に停止
4. 停止位置から歩行者までの距離を俯瞰視点で確認。
対向車がない状況でのハイビームの有効性を学習



歩行者教育として服装の「視認性」を体験

- ・ 横断歩行者の服装は「黒・茶・赤・白」、年齢は「子ども・大人・高齢者」、さらに「反射材着用の高齢者」「高視認性安全服着用の子ども」を用意
- ・ ドライバーの視点から、昼間・薄暮時・夜間、また晴天・雨天・雪など、さまざまな環境下で見え方の違いを確認
- ・ 歩行者側も「視認性の高い服装」をすることで事故防止に役立つことを学習

